

令和7年度 三郷市学校評価システム **本評価:学校関係者評価シート**

| 評価項目 | 評価項目 | No. | 質問項目 | 学校自己評価結果 | 学校関係者評価結果 | 学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え | |
|----------|----------|--|---|--|--|---|--|
| 組織運営等の状況 | 教育目標 | 1 | 学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★ | 3.88 | 4.00 | R6:3.63 → R7:3.88 ・学校長が明確に示したビジョンが確実に浸透し、今年度も多くの分野で組織的に取り組むことができた。 | |
| | | 2 | 学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。 | 3.52 | | R6:3.52 → R7:3.52 ・相互授業参加や校内研修でもPDCAサイクルが意識できている。 ・各分掌を中心に会議等を通してサイクルを回しており、そこで出された来年度への課題について、前年度踏襲にせず改善をしていきたい。 | |
| | | 3 | 学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。 | 3.56 | | R6:3.63 → R7:3.56 ・「誰一人、取り残さない早稲田中の学び」の観点から個別最適な学習につながる内容の重点化を各分掌において行っている。 | |
| | | 4 | 学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★ | 3.60 | 4.00 | R6:3.48 → R7:3.60 ・「夢をはぐくむ」講演会も積極的に実施できている。 ・教職員全体での共通理解の下、各分掌を生かしながら、ICTの活用やメンタルヘルス向上に努めている。 | |
| | | 5 | 学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。 | 3.84 | | R6:3.81 → R7:3.84 ・倫理確立委員会や朝の打ち合わせ、校長通信によって教職員に周知できている。特に倫理確立についての教職員の分担ことの発表が効果的であると考える。 | |
| | | 6 | 学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。 | 3.96 | | R6:3.81 → R7:3.96 ・学力向上推進研究やメンタルヘルス推進研究発表会での公開以外にも、日頃から頻りに研究授業や相互授業参観を行い、研鑽を積むことができている。 | |
| 授業等の状況 | 学力向上 | 7 | 学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。 | 3.88 | | R6:3.81 → R7:3.88 ・ICT利用率が三郷市内1位の中学校である。生成AIや学びポケット、ミライシード、スタディサプリ等を積極的に活用した授業実践を行っている。特にスクールAI「NANDE」の導入が特徴的であり、その利用方法への工夫を検討し、授業の質の向上を追求している。 | |
| | | 8 | 学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。 | 3.36 | | R6:3.44 → R7:3.36 ・ICT活用がよくできており、さらなる指導方法の工夫や複線型授業の模索を行っている。また、スタサポルームを開校し、基礎・基本の定着に向けた取り組みを進めているが、その効果はこれからである。 | |
| | 授業規律 | 9 | 学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。 | 3.52 | | R6:3.70 → R7:3.52 ・三郷の「授業の心得」に基づいた指導は全体的には、実施できている。ただし、学年間、教科担当同士でより情報交換を行う必要がある。 | |
| | | 10 | 学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★ | 3.52 | 4.00 | R6:3.70 → R7:3.52 ・全体的に落ち着いた雰囲気での学習できているが、全教職員がより生徒の興味・関心を惹くような授業力向上に尽力する。 ・ただし、時々教室環境が乱れている場面もあり、さらなる取組の改善を要する。 | |
| | 読書のまじり | 11 | 学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★ | 3.88 | 4.00 | R6:3.96 → R7:3.88 ・図書室朝の会の取組や図書館だより発行が充実している。 ・図書室に配架されている本も充実度上げており、授業等で図書室を利用する機会も増えている。貸出し冊数も7308冊(4月～1月現在)を超えている。また、新聞を通した学習について教職員研修を行い、読書活動に繋げていこうと考えている。 | |
| | | 12 | 学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★ | 3.56 | 4.00 | R6:3.78 → R7:3.56 ・全校でプリオパルの取組が継続して行われており、生徒の読書活動においてかなり効果を上げている。 ・朝読書もきちんと取り組んでおり、生徒主体での情報発信も行っている。 | |
| | 健康・体力 | 13 | 学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。 | 3.04 | | R6:3.33 → R7:3.04 ・保健や家庭科の授業を通して、食事の大切さを伝えているが、さらにその取組を深めていく必要がある。 ・瑞沼給食センター訪問を実施し、食に対する意識も高まった。ただし、栄養教諭が行って下さっている食育指導に頼りきっている面もある。 | |
| | | 14 | 学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★ | 3.16 | 4.00 | R6:3.26 → R7:3.16 ・体育科が授業を工夫して、体を動かすことの楽しさを伝えようとしている。部活動については、部によって取組に偏りがあり、生徒の意欲の差にもつながっている。 | |
| | 道徳の推進 | 15 | 学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。 | 3.16 | | R6:3.41 → R7:3.16 ・ローテーションによる道徳を実施を継続している。今年度は外部指導者として日本道徳教育学会会長吉本恒幸(聖徳大名教授)を招聘し、道徳教育の改善に努めた。 | |
| | | 16 | 学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。 | 3.28 | | R6:3.37 → R7:3.28 ・道徳と他教科との連携を模索しながら、日頃より生徒指導の観点からも指導を続けている。 | |
| | 指導・管理の状況 | 礼儀正しい児童生徒の育成 | 17 | 学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。 | 3.68 | | R6:3.44 → R7:3.68 ・教職員の意識に多少差が見られるので、研究を重ね、温度差がなくなるように尽力する。 |
| | | | 18 | 学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★ | 3.60 | 3.75 | R6:3.52 → R7:3.60 ・大多数の生徒は挨拶がきちんとできるが、やはり「自ら進んで」という観点では、弱い面も見られる。 |
| 19 | | | 学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるように指導している。 | 2.92 | | R6:3.04 → R7:2.92 ・粘り強く逐一指導しているものの、なかなか浸透していない一部の生徒もいる(大人に対してのため口や「です、ます」等の丁寧語や敬語が使えない等)ことから、3学期には、丁寧な言葉キャンペーンを実施した。 | |
| 生徒指導 | | 20 | 学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。 | 3.88 | | R6:3.81 → R7:3.88 ・生徒指導部会や教育相談部会が迅速かつ適切に運用されており、初期対応がきちんとなされていた。 | |
| | | 21 | 学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。 | 3.88 | | R6:3.70 → R7:3.88 ・教職員間で密に情報交換を行い、適切なタイミングで保護者と連携を図ることに努めた。 | |
| | | 22 | 学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★ | 3.92 | 4.00 | R6:3.85 → R7:3.92 ・「いじめに関する道徳」の全校で実施できた。 ・毎月の「すこやかチェック」を有効活用し早期対応を図ると共に、「シンハートフル週間」を学期ごとに実施し、生徒の状況の把握に尽力した。 | |
| 安心・安全 | 23 | 学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。 | 3.56 | | R6:3.59 → R7:3.56 ・学校長の指示の下、迅速に対応できる組織づくりがなされている。危機管理マニュアルについては、さらに浸透させていかなければならないであろう。 | | |
| | 24 | 学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★ | 3.48 | 4.00 | R6:3.48 → R7:3.26 ・安全点検の実施状況が不十分であり、安全担当を筆頭に教職員の意識を向上を図るべきである。分掌の活性化が今後の課題である。 | | |
| 教育環境 | 25 | 学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★ | 3.32 | 4.00 | R6:3.44 → R7:3.32 ・「無言清掃」を目指しているが、取組に差が見られ、今後、分掌からの積極的な呼びかけやキャンペーンが求められている。 | | |
| | 26 | 学校は、組織的に働き方改革を進めている。 | 3.64 | | R6:3.70 → R7:3.64 ・ICTの有効活用を筆頭にペーパーレス化が着実に進められている。時間外勤務についても「定時退勤ウィーク」以外にも呼びかけを行っているが、偏りがあり改善の余地がある。 | | |
| 家庭地域との連携 | 27 | 学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★ | 3.76 | 4.00 | R6:3.70 → R7:3.76 ・毎日HPを更新することに加え、学校だよりや学びポケットを有効活用し、最新情報の発信に努めている。しかしながら、現在の市で指定されたサイトは使いづらく、わかりにくいとの声も上がっている。 | | |
| | 28 | 学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★ | 3.84 | 4.00 | R6:3.52 → R7:3.84 ・学校運営協議委員会を中心に保護者・学校応援団も含め、多くの協力をいただき、「大人としゃべり場」を開催することができた。また、親の学習についても保護者会とタイアップして実施した。 | | |
| | 29 | 学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★ | 3.80 | 4.00 | R6:3.67 → R7:3.80 ・PTA本部役員を中心に「早中フェス」を開催し、成功を収めることができた。生徒主体にすべく、さらなる充実のため、その開催方法等、現在検討中である。 | | |

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。